

料理食べるときの「これなーに？」は大切!!

私自身、生徒を指導しながら優秀な子に共通する考え方や習慣は何なのか…日々考えて、観察しながら子どもと接しています。「自己採点が正確にできる!」もいろんなところで申し上げているように、大切な要素です。

さらに優秀な子に備わる共通の要素は「疑問に思う心」です。「これはなんだろう?」「どうしてこうなったんだろう?」と考えることは必須の能力です。公式を例にとっても、【優秀な子は公式を覚えるのではなく、公式の意味を理解し、運用することができる】のです。これをご家庭内の取り組みに落とし込んでいくと…

ある生徒が「ゆで卵って何?」と言い出したことがありました。慌ててコンビニでゆで卵と生卵を買ってきて本人に見せました。その子にいろいろ突っ込んでみると、「はんぺんって何でできているのか?」「たくあんは?」「かまぼこは?」いろいろわからないことが多いことに気が付きました。

料理というのは、原材料が原型をとどめていないものもたくさんあります。その時に、口に入れるものですから「これは何だろう。」とか、「これは何でできているんだろう?」とか疑問に思うはずです。ところが!お母さんが作ってくれたものだからという安心感からか、何も言わずに口に運ぶのです。これでは疑問に思う心は育ちません。ぜひご家庭でもこれは何でしょう??とかクイズしながらご飯を食べてみてください。

※中学受験では入試では鮭の切り身に骨を描く、野菜の輪切りの模様を答える問題など出ます。料理は大切です。

